

審判長注意

第32回全国市町村交流レガッタ下諏訪大会（2023/9/30-10/1 長野県下諏訪ローイングパーク）

今大会は、日本ローイング協会競漕規則及び大会実施要項に基づいてレースを運営しますが、以下のことに注意してレースに臨んでください。

1 健康について

各クルーは健康管理に十分注意を払い、万全の状態で開催できるような心がけてください。熱中症予防のほか、感染症対策にも留意してください。出艇後でも体調不良を感じた場合は、無理をせず、必ず最寄りの審判員またはその他の役員に申し出てください。

2 事故防止と安全確保について

コース内の航行規則は別掲の通りです。航行ルールを守り、周囲の安全を確認し、事故のないよう十分注意してください。決められた水域以外には絶対に行かないこと。また、気象の変化や風・波等にも注意し、大会本部等から指示がある場合はこれに従ってください。

スタート地点への回漕中、レース艇が来たときは、必ず止まり、レース艇が通過するのを待ってください。

3 各種手続き（届出）について

乗権・メンバー変更は、競漕委員会（総合受付内）へ当該レース1時間前までに申し出てください。

4 ユニフォームの統一について

各クルーとも統一したユニフォーム（上着）を着用してください。帽子・はちまき等を着用する場合も統一したものを着用してください。（着用・不着用のものがいても可）

5 コースの進入について

乗艇後は速やかに離岸しコースを横断してください（100m付近に矢印➡あり）。ただし、発艇2分前以降はコースを横断しないこと（発艇台のパトライトが回転している間はコース横断禁止）。前のレースがスタートし100mを通過すると、発艇員は次レースのクルーをコースへ呼び込みます。呼び込みを受けてから、指示されたレーンに速やかに進入してください。

6 発艇定刻の厳守と発艇について

出漕クルーは、発艇定刻2分前までに所定の発艇位置（ステイクボート）に着かなければなりません。艇の故障等で発艇定刻に間に合わない場合は、必ず最寄りの審判員に申し出て指示を受けるようにしてください。許可なく発艇位置につくことを遅延した場合、そのクルーを待つことなく発艇し、そのクルーの扱いは失格となります。

発艇定刻2分前になったら、いつでも発艇できるよう準備をしておいてください。風波等の状況により「クイックスタート」で発艇する場合があります。なお、スタート直後、他のレーンを侵害したり、他艇を妨害しそうなクルーがある場合は、主審以外にも発艇員が注意のため当該クルー名を呼ぶことがあります。

7 スタート後の故障について

スタートしてから艇の故障及びオールの破損等が生じた場合の再レースは原則行いません。オールの装着、ストレッチャーの固定等、十分に確認してからレースに臨んでください。

8 レース中の注意について

すべてのクルーは、自己のレーンを進行しなければなりません。他のレーンへの侵害や、他艇に妨害を及ぼすおそれのあるクルーに対し、審判が注意を与えることがあります。この場合、主審は白旗をあげ、当該クルー名をコールし、進むべき方向へ白旗を振り下ろします。また、接触・衝突等の危険が生じたクルーに対しても、白旗をあげ「〇〇止まれ！」等のコールをし、当該クルーのみを停止させることがあります。この場合、必ず主審の指示に従い、危険を回避した後、再び競漕に復帰してください。

主審艇が極端に遅れたクルーを追い越すことがあります。この場合、追い越されたクルーは波をかぶることもありますがお容赦ください。

9 警告とその取扱いについて

大会期間中の航行ルールを守らなかったとき（出艇時や自由水域での航行ルールも含むが、やむを得ない状況のときは除く）や、発艇定刻の2分前までに発艇位置に着かなかったとき（事前に申し出た場合や特段の事情がある場合を除く）は警告の対象となります。

同一競漕中、なんらかの警告を受けたクルーがフォルス・スタート（フライング）を行う、もしくはもう一度警告を受けると除外となります。また、2度のフォルス・スタート（フライング）をしたクルーは除外となります。

10 レース終了後について

ゴールラインを通過したクルーは、主審が旗をあげるまでゴール付近で待機しててください。レースに対する異議がある場合は、主審が旗をあげる前に手を挙げて主審に申し出てください。主審から白旗があがった場合は、レース成立を意味するのでそのまま帰艇棧橋に戻ってください。しかし赤旗があがった場合は、レースに何らかの問題があったことを示しますから、その場にとどまって主審の指示を待つようにしてください。

11 一般立入禁止区域について

スタート（発艇線）・ゴール（決勝線）付近については、立入りを禁止とします。